

投資事業評価調査書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 多田 智 (課長補佐兼県道係長 吉村 文章)	内線	4362 (4376)
------	-------------------	---------------------	----------------------------------	----	----------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間		総事業費	約1.1億円
		道路改築事業 ふくずみさんだ (一) 福住三田線	さんだしひがしほんじょう 三田市東本庄		内用地補償費	約0.7億円
所在地		事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度		
三田市東本庄		平成18年度	平成18年度	平成19年度		
事業目的		事業内容				
<ul style="list-style-type: none"> 本路線は、(主)さんだしつかわかみ 三田後川上線、(主)さんだささやま 三田篠山線、(一)そじなかさんだ 曾地中三田線と国道176号及び(一)くろいしさんだ 黒石三田線を結び、三田市北部地域の東西幹線である。 当該区間は幅員が狭小で、大型車のすれ違いが困難、通学路でありながら歩道もないことから、交通安全上危険な状態にある。このため現道拡幅、歩道設置工事により、交通安全の向上を図る。 		道路改良(現道拡幅) L = 297 m 【計画幅員】W = 6.0 (10.0) m (2車線+片側歩道) 【現況幅員】W = 3.5~4.0 (4.0~5.0) m 【計画交通量】 2,800台/日 【現況交通量(H11センサス)】 2,540台/日 【負担割合】 県 : 10 / 10				
評価視点		評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心の確保		<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は三田市東本庄地区で唯一の未改良区間で幅員も狭小であり、前後が整備済みで見通しも悪く、ボトルネック区間となっている。このため、円滑かつ安全な車両の通行を可能にする。 ほんじょうしょうがっこう 本庄小学校、ながさかちゅうがっこう 長坂中学校の通学路でありながら、歩道がなく、交通事故の危険性が非常に高いため、安全な通学路を確保する。 三田市本庄地域の生活道路とし、円滑かつ安全・安心な道路を整備する。 				
暮らしと交流を支える道づくり		三田市北部地域の東西幹線である本路線の整備により、点在する集落間の連携の強化が図られる。				
地域ニーズ		通学児童及び自転車通学の生徒の安全確保のため、地元自治会及び市立本庄小学校から早期整備の要望がある。				
(2)有効性・効率性 有効性		費用便益比 B / C = 1 . 7				
効率性 (事業執行環境)		地元自治会、PTAからの強い整備要望を背景に、円滑な事業実施に向けた、地元の協力体制が整っている。				
(3)環境適合性		切、盛土法面には、周辺植生に配慮した緑化を行い、環境への影響を最小限に留める。				
(4)優先性		国道176号と(一)曾地中三田線との間に残る唯一の未改良区間で日々の生活に支障を与えている。「地域生活道路」として早急に整備する必要がある。				